| 学校番号 | １００４ |
|---|---|

平成３１年度　看護科

| 教科 | 看護科 | 科目 | 基礎看護Ⅰ | 単位数 | ２単位 | 年次 | ３年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「基礎看護」　（教育出版） | | | | | | |
| 副教材等 | | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

看護に対する基本的理解事項を、様々な観点から学びます。初めて学ぶ専門的な内容と、小・中学校で学んできた教科を横断的に活用し、理解を深めます。そのため、学習に対する主体的な授業への取り組みを重視します。また、進路や興味・関心に応じて、自己のあり方を考えてもらいます。自己理解、適性伸張のための校内実習・実技試験等を実施します。グループ活動を通して、それぞれの役割の理解と相互援助を実感しながら、看護師・患者双方の立場で考えてみましょう。他者理解の意識を伸ばすために、意見の交換や発表も実施します。

2　学習の到達目標

・看護に関する興味・関心を高め、基本的なマナーと積極的な態度を養う。
・看護の本質と看護の意義について理解する。
・日常生活の援助の仕方について、いくつかを具体的に学習する。
・基本となる看護の手技について身につけ、実践できる。
・他者への関わり方、理解をすすめ、チームとして活動する意識を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:関心・意欲・態度 | b:思考・判断・表現 | c:技能 | d:知識・理解 |
|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 看護に関連する内容について関心を持ち、主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身につけている。 | 看護の基礎的･基本的な知識と技術を基に、より良い看護を行うために適切に判断し、表現する創造的な能力を身につけている。 | 日常生活の援助及び診療と看護に関する基礎的･基本的な技術を身につけ、その技術を適切に活用している。 | 看護の各分野に関する基礎的･基本的な知識を身につけ、看護の意義や役割、考え方について理解している。 |
| 評価方法 | 授業態度<br>プリント記入<br>レポート記述<br>発問への反応<br>発表<br>実技 | 授業態度<br>プリント記入<br>レポート記述<br>発問への反応<br>発表<br>実技・実技テスト<br>定期考査 | 授業態度<br>プリント記入<br>レポート記述<br>発問への反応<br>発表<br>実技・実技テスト<br>定期考査 | 授業態度<br>プリント記入<br>レポート記述<br>発問への反応<br>発表<br>実技・実技テスト<br>定期考査 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

| 学期 | 内容 | 単元（題材） | 学習内容 | 主な評価の観点 a | b | c | d | 単元（題材）の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1学期 | 看護の意義と役割 | 看護の対象の理解 | 1. あなたの考える看護とは何か<br>2. 人間の理解（統一体・欲求・成長・発達） | ○ | ○ | ○ | ○ | a. 望ましい看護観・職業観・倫理観の探求とともに、人間理解を基盤にする看護に主体的に取り組もうとしている。<br>b. 看護における人間理解の基盤となる基礎的・基本的な知識を基に、人の総合的理解を行うために適切に判断し、考えを表現している。<br>c. 看護に関する各自の意見と看護の対象である人間の理解について、資料や互いの発言からその意味を整理し、まとめている。<br>d. 看護の持つイメージと、実際の活動について、理解を共有できている。人間を統一体として把握すること、基本的欲求と成長・発達の過程について理解している。 | 授業態度<br>プリント<br>レポート<br>発問返答<br>発表<br>定期考査 |
| | | 看護の意義・目的 | 3. 看護の意義（看護とは・看護者の資質）<br>4. 看護の目的（健康とは何か・病人の看護・健康な人の看護） | | ○ | | ○ | a. 看護者として人間愛に基づく行動を取ること、健康の概念に関心を持ち、各自の健康観を理解しようとすること、また看護の目的を理解しようとする態度を身につけている。<br>b. 看護の基礎的・基本的な知識を基にそれぞれの因子を関連付けて総合的に理解することの必要性と、看護の目的について思考を深め、適切に判断し、考えを表現している。<br>c. 看護と健康に関する資料を読み取り、整理し。まとめている。<br>d. 看護が人間愛を基本に、知識・技術・態度を備えた看護師によって行われることを理解している。健康の概念と看護の目的から、看護者の専門性について理解している。 | |
| | 日常生活と看護 | 病床環境の調整 | ベッドメーキング | | ○ | ○ | | a. 健康の回復にとって望ましい病床環境を整えるための方法について関心を持ち、主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身につけている。<br>b. 病床環境の調整について科学的に思考を深め、適切に判断し、考えを表現している。<br>c. 病床環境を整えるために必要な基礎的・基本的技術を身につけ、その技術を適切に活用している。<br>d. 患者の状態に応じた病床環境について理解している。環境調整のために使われる物品・手順等について理解している。 | 授業態度<br>プリント<br>レポート<br>発問返答<br>発表<br>実技実習<br>実技テスト<br>定期考査 |
| | | 姿勢・体位と運動 | 体位変換・移乗 | | ○ | ○ | | a. 活動・運動が健康に及ぼす影響について関心を持ち、安静を必要とする患者の理解に主体的に取り組もうとしている。<br>b. 患者の心身の苦痛と障害の援助について資料を読み取り、ボディメカニクスを基に適切に判断し、考えを表現している。<br>c. 体験・実習を通して、ボディメカニクスの原理に基づいた体位変換と移乗に関する基礎的な技術を身につけている。<br>d. 活動・運動が健康に及ぼす影響、姿勢・体位の種類とボディメカニクスに関する基礎的な知識を身につけている。患者の心身の苦痛と障害の援助について理解している。 | |

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2学期 | 看護の意義と役割 | 看護の歴史 | 5. 看護の変遷(西洋・日本・現代) | | | ○ | ○ | a. 看護の起源と歴史について関心を持ち、これからの看護に主体的に取り組もうとする態度を身につけている。<br>b. 看護の起源と歴史に関する知識を基に、より良い看護を行うために適切に判断し、考えを表現している。<br>c. 看護の起源と歴史に関する資料を読み取り、整理し、まとめている。<br>d. 看護の起源と歴史に関する知識を身につけ、その知識を基に現代の看護について理解している。 | 授業態度<br>プリント<br>レポート<br>発問返答<br>発表<br>定期考査 |
| | 日常生活と看護 | 身体の清潔の援助 | 足浴<br>洗髪 | | ○<br>○ | ○<br>○ | | a. 人間にとっての清潔の意義と清潔保持の必要性について関心をもち、清潔の援助に、主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身につけている。<br>b. 身体の清潔の方法について科学的に思考を深め、適切に判断し、考えを表現している。<br>c. 清潔の援助に関する資料を読み取り、整理し、まとめている。体験・実習を通して、清潔の援助の方法について基礎的な技術を身につけている。<br>d. 身体の清潔と健康との関連、清潔の意義と清潔保持の必要性について理解している。清潔の援助方法について基礎的な知識を身につけている。 | 授業態度<br>プリント<br>レポート<br>発問返答<br>発表<br>実技実習<br>定期考査 |
| | | 衣生活の援助 | 寝衣交換 | | ○ | ○ | | a. 衣生活の意義及び衣服と健康との関わりについて関心を持ち、患者の状態に応じた寝衣の着脱方法について主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身につけている。<br>b. 患者の状態に応じた寝衣の着脱方法について科学的に思考を深め、適切に判断し、考えを表現している。<br>c. 患者の状態に応じた寝衣の着脱方法に関する資料を読み取り、整理し、まとめている。体験・実習を通して、患者の状態に応じた寝衣の着脱方法に関する基礎的な技術を身につけている。<br>d. 看護の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、看護の意義や役割、考え方について理解している。 | |
| | 診療と看護 | 無菌法と院内感染の予防 | 1. 希釈(計算)<br>2. 感染と伝染(感染予防の原則)<br>3. 滅菌・消毒・院内感染の予防<br>手洗い実習<br>無菌操作 | | ○<br><br><br>○ | ○<br><br><br>○ | ○<br>○<br>○ | a. 無菌法及び院内感染予防ほ必要性について関心を持ち、感染予防における看護者の役割に主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身につけている。<br>b. 無菌法及び院内感染予防の必要性、感染予防における看護者の役割について、科学的に思考を深め、基礎的な知識と技術を基に適切に判断し、考えを表現している。<br>c. 実習などを通して、スタンダードプレコーションの考え方に基づき、滅菌・消毒・隔離・ガウンテクニック・手洗い・無菌操作の基礎的な技術を身につけている。<br>d. 感染予防の原則を理解している。無菌法及び院内感染予防の必要性及び看護者の役割の重要性を理解している。スタンダードプレコーションの考え方と無菌操作全般の方法・手順について理解している。 | 授業態度<br>プリント<br>レポート<br>発問返答<br>発表<br>実技実習<br>定期考査 |

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3学期 | 診療と看護 | フィジカルアセスメント<br>（バイタルサイン測定と記録） | 1. フィジカルアセスメント<br>2. 体温・脈拍・呼吸・血圧（各論） | | ○<br>○ | <br>○ | ○ | a. バイタルサインを観察することの意義と重要性に関心を持ち、バイタルサインを正確に観察し、適切に記録・報告を行い、アセスメントを主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身につけている。<br>b. バイタルサインを観察することの意義と重要性、観察方法について科学的に思考を深め、基礎的な知識と技術を基に測定結果の正常と異常を判断し、アセスメントした考えを表現している。<br>c. 体験・実習などを通して、体温・脈拍・呼吸・血圧を安全かつ正確に観察する技術を身に付け、観察結果を滝説に記録・報告している。<br>d. フィジカルアセスメントに関する知識と技術が、看護にとって基盤となることの重要性を理解している。体温・脈拍・呼吸・血圧・意識レベルを観察する意義と重要性について理解している。それぞれの測定の原理や影響を与える因子などを理解し、正確に観察するための知識を身につけている。 | 授業態度<br>プリント<br>レポート<br>発問返答<br>発表<br>実技実習<br>定期考査 |
| | 看護活動の展開 | 患者との人間関係 | コミュニケーション | ○ | ○ | ○ | | a. 患者と医療従事者との人間関係の特徴に関心を持ち、患者・家族と適切な人間関係を形成するためのコミュニケーション、主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身につけている。<br>b. 患者・家族と適切な人間関係を築くためのコミュニケーションについて思考を深め、考えを表現している。<br>c. 患者・家族と適切な人間関係を築くためのコミュニケーションに関する基礎的・な技術を身につけている。<br>d. 患者と医療従事者の人間関係の特徴を理解するとともに、より良い人間関係が看護の実践の基盤となることを理解している。信頼関係の構築のためのコミュニケーションの基礎的な知識を身につけている。 | 授業態度<br>プリント<br>レポート<br>発問返答<br>発表<br>実技実習<br>定期考査 |

※　表中の観点について　a：関心・意欲・態度　b：思考・判断・表現
c：技能　d：知識・理解

※　原則として一つの単元（教材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。